

『プレイ・オブ・コンシャスネス』からの一節

ベン・ウィリアムスによる朗読

バーバはこう記しています。

ある時、私は、常に瞑想に浸っていた知識にあふれる聖人の死を描いた実話を読んだ。彼は己の死の時を知っていて、その時が来ると、人々を周りに集めて、彼らの祝福や許しを乞うた後、皆に感謝した。その後、四方向に、五大要素に、知恵を与えてくれたグルに、お辞儀をした。最後に、神から与えられ、彼の精神修行の旅を完了させた、歩き動き話す神の神殿である肉体を崇拝した。

彼は手を合わせてこう言った。「愛しい肉体よ、汝(なんじ)の恵みで神に達成することができた。ありがとう。私は汝を困らせたり、怖がらせたりして、不安や苦悩を与えてしまった。何をしようと、汝はいつも私を助けてくれた。本当に私は汝に恩がある。愛しい肉体よ、汝は私に敏速で洞察力のあるマインドを授けてくれた。汝を通して瞑想における最高の境地、ニルヴィカルパに到達することができた。故に、愛しい友よ、私は常に恩義を負っている。無意識のうちに、ある時は意識して、私は、再三汝を苦しめた。それなのに、汝は常に私を助け、できる限りのことをして尽くしてくれた。私のなすことすべてに、友情と伴侶の優しさで報いてくれた。汝なしには、これほどのサーダナーを実践し、神に至ることはできなかつたろう」。このように肉体に語り終わると、聖人は絶対なるものに融合した。

そして、バーバはこう続けます。

あなたが肉体を本当に理解すれば、それをヨーガや愛や瞑想で満たすことになるだろう。¹



© 2026 SYDA Foundation®. 著作権所有。

¹ Swami Muktananda, *Play of Consciousness: A Spiritual Autobiography*, 3rd ed. (S. Fallsburg, NY: SYDA Foundation, 2000), pp. 270 –71. 日本語版『プレイ・オブ・コンシャスネス』p284–285